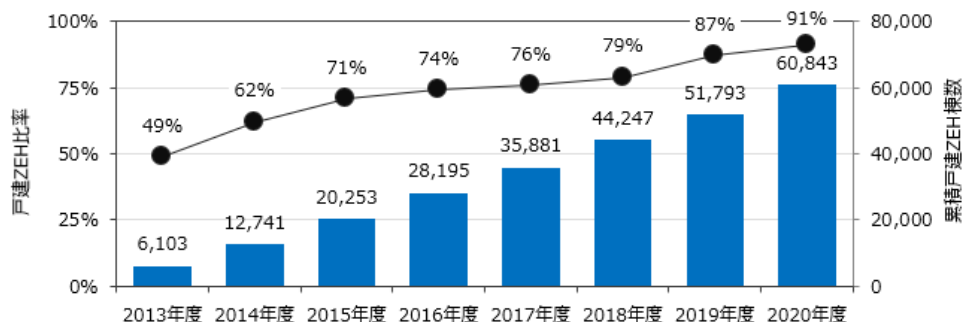


積水ハウス、2020年度新築戸建 ZEH 比率 91%

日本の温室効果ガス削減目標 46%達成に向け、業界をリードして推進

積水ハウス株式会社は、2020年度の新築戸建住宅におけるネット・ゼロ・エネルギー・ハウス^{*1}（以下 ZEH）の比率が 91%^{*2} となり、第 5 次中期経営計画（2020 年度～2022 年度）最終年度までの目標 90%を前倒しで達成、累積も 2021 年 3 月末時点で 60,843 戸となりました。今後も ZEH の供給により、住まいの脱炭素化を強力に推進し、日本政府の温室効果ガス削減目標（NDC）46%の達成に向けて積極的に取り組みます。

- 2020 年度の新築戸建 ZEH 比率 91%、2022 年度までの目標を前倒し達成
- 賃貸住宅でも ZEH を推進し、家庭部門の CO₂ 排出量を 2013 年度比 55%削減
- 日本政府の温室効果ガス削減目標達成に向け、業界をリードして住まいの脱炭素化を推進



戸建住宅における ZEH 比率の推移

2021 年 4 月 22 日、23 日に米国主催で開催された気候変動に関する首脳会合「気候変動サミット」に際し、日本の 2030 年の温室効果ガス排出削減目標 46%が発表されました。

住宅供給事業者としては、まずは日本全体の CO₂ 排出量の 15.5%を占める「家庭部門」^{*3} の脱炭素化を推進する責務があると考えております。当社は 2008 年に、住まいのライフサイクルにおける CO₂ 排出量をゼロにする「2050 年ビジョン」を発表し、事業全体の脱炭素化を図る中で、戸建住宅と賃貸住宅シャームゾンの ZEH 化を重点的に推進しています。これらの取組みにより、当社が供給した住まいにおける 2020 年度の CO₂ 削減実績は 2013 年比で 55%に達しました^{*4}。

積水ハウスは日本政府の新たな温室効果ガス削減目標に賛同するとともに、これからも業界をリードし、住まいの脱炭素化をより強力に推進してまいります。

*1：外皮の断熱性能等の向上や、高効率な空調・給湯・照明器具等の導入による省エネで使用エネルギーを減らしながら、太陽光発電パネル等の再生可能エネルギーを導入することにより、年間の一次エネルギー消費量の収支がゼロ以下とすることを旨とした住宅のこと

*2：2020 年 4 月から 2021 年 3 月、北海道/A 登録：目標 50%、実績 72%。北海道以外/B 登録：目標 80%、実績 91%

*3：日本の温室効果ガス排出量データ 2019 年度確報値（国立環境研究所）に基づくエネルギー起源、電気・熱配分後の部門別 CO₂ 排出比率

*4：戸建住宅と賃貸住宅シャームゾンの居住時におけるエネルギー消費に伴う CO₂ 削減比率の推計値